

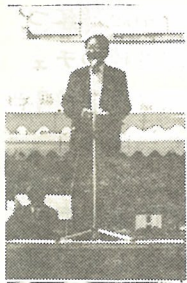
# あたらき大地



1986年 9月号

NO.16

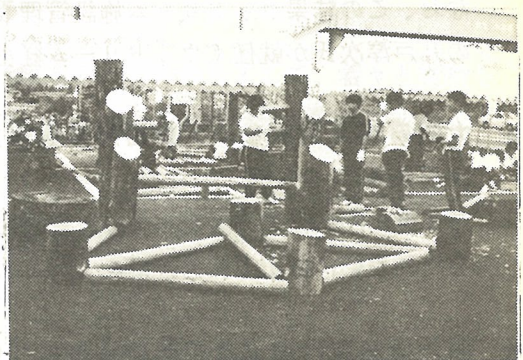
## 『夏休み木工教室盛会』 —木のモニュメントづくり—



夏休みに恒例となった、木工教室が去る8月2日、3日と5日の3日間（各午後1時から5時まで）組合会館南側駐車場を会場に『中学生が作る木のモニュメント・ひと・みどり・ふれあい』をテーマに、美原町3中学校の生徒113名が参加して盛大に催された。



この企画は、美原町制施行30周年事業とタイアップし、開講式、閉講式には、町長、教育長も列席し町ぐるみの企画として実施された。指導には、ウッドクラフター藤迫隆史氏が当り、その模様はNHK・TVでも放映されたが、出来あがった9作品のダイナミックさは最近各地で催されている子供木工教室とは、一味ちがうウッドリームならではの企画として、各方面から高く評価された。



（夏休み木工教室作業風景）

## ＜ 理事会の議事録から ＞

★ 金融事業の運営方法の一部変更について  
三和銀行富田林支店の転貸融資扱い



現行の転貸融資は商中と住友銀行による短期資金と中期資金を組合わせたセットで融資する方式をとっているが、これと併せて借入資金の利用目的にマッチした資金を調達できるよう新たに三和銀行で次の要領による転貸資金を取り扱うことになった。

記

|               | 種類   | 期間     | 借入金利(年) | 返済方法          |
|---------------|------|--------|---------|---------------|
| 三和銀行<br>富田林支店 | 短期資金 | 6カ月以内  | 5.00%   | 3カ月据置 3カ月月賦償還 |
|               |      | 12カ月以内 | 5.50%   | 6カ月据置 2カ月毎償還  |
|               | 長期資金 | 3年以内   | 6.30%   | 6カ月据置 3カ月毎償還  |
|               |      | 5年以内   | 6.40%   | 〃             |
|               |      | 10年以内  | 6.50%   | 〃             |

(注) 組合員に対する貸付金利は上記借入金利に0.2%加算した利率

#### 組合員に対する転貸融資額の決定方法

工場用地の担保評価額が32万円に増額され、組合が認める担保設定許容額が坪当り10~14万円となった結果、組合員に対する貸付金額が1億~2億円という大口の融資となり、与信上の問題が生ずる可能性があるため、今後組合員からの借入申込額については、借入先金融機関の審査を経て貸付決定を行い、組合では融資の限度枠のチェックを行うだけにとどめることになった。

#### ★ 「情報委員会」の設置について

企業間の激しい競争の中で組合員の各企業においても、いろいろな経営問題を抱えており、これらの問題解決に少しでも役立つよう、このたび組合で情報委員会(委員長に菊水悌社長の笠井文雄氏が就任)を設置し、組合員に対する情報サービス活動を推進していくことになった。

なお、この結果ウッドリム施設管理委員会の委員長 笠井文雄氏の後任に(株)ヤマゲンの井戸淳次氏が就任(ウッドリム経営委員長と兼務)することになった。

#### ★ 大阪府商工関係者の大阪府知事表彰並びに大阪府中小企業団体中央会の会長表彰について

今年度の団体役員の表彰について表題の大阪府知事表彰には橋本禎夫副理事長を、中央会々長表彰には田中繁男理事をそれぞれ推せんすることになった。

#### ★ 海外研修旅行積立金の払い込みについて

来年度予定している米国オレゴン州への研修旅行のため組合員各社から毎月1万円宛の旅行積立金を徴収しているが、この積立金は同旅行への参加、不参加に拘らず、一応組合員全社に積立てを依頼し、簡易郵便局の業務をあげるため、「通常貯金」への預入れに協力をお願いすることになった。

なお、同旅行に不参加の組合員にはこの積立金を全額払い戻すことになっている。

## 【 組合員企業の紹介シリーズ 】 『うちの会社』

〔その16〕

三信木材株式会社 社長 栞井 敬



弊社は、昭和33年大阪市大正区千島町にて創立、41年に平林地区に移転、43年4月より当木材団地に製材工場を設立、45年に平林より本社を移転し現在に至っています。

当初、船舶、車輻用材(特に電車用木材)の製材、加工、納材を主としておりましたが、現在では車輻用材のうち、トラックボディー用材の製造が主体を占めています。

特製用トラックボディー材の納材を主としておりますので、取扱材種は、アピトン材のうち、クルイン材(フローター)が90%以上を占めており、また長さ10米の超長尺材の製材が出来る数少ない製材所としても、ご利用頂いております。

近年、現地挽製品の取扱量も増加し、製材部門において、ツキ板用賃挽製材も扱っております。

木材普及の中心的役割を目指している当団地内において、木材加工工程の第一段階(製材)の部分の一端を担わせて頂くべく、営業致しております。

長尺材、賃挽製材などご要望がございましたら、ぜひご連絡下さい。

### “ 郵便局 だより ”

当「美原木材団地簡易郵便局」も皆様方のおかげをもちまして、はや満一周年を迎えました。これを記念し、日頃の感謝をこめ現在当郵便局では謝恩サービスを実施しています。(利用者に宝くじ券進呈、9月30日期限)多数のご来局を期待しております。

なお、去る8月より一般の金融機関と同じく、従来の第2土曜日に加えて第3土曜日も取扱休止日となりましたので、念のためお知らせいたします。

### “ 環境整備すぐやる課 だより ”

今年7月から実施している環境整備事業は、皆様方のお陰を持ちまして、着々と実績を上げています。季節的に非常に作業が困難を極めていますが、夏休み中の学生アルバイトも動員して、作業を進めています。

環境整備の効果をあげるには、各社のちょっとした気づかいと環境美化意識の高揚が非常に大切な事だと思っております。今後とも一層のご協力をお願いいたします。

環境整備すぐやる課 TEL 0723-62-7848

### 【 ・日頃の心がまえ 】

- (1) 上役にすすんで協力できるか。
- (2) スランプは何を目指すかを問いかける。
- (3) 相手を変えるには、まず自分から変われ。

## “ ウッドリーム大阪だより ”

### ★ 木材知識講演会開催

去る7月19日(土)標記講演会が開催された。

第1部は、当組合中川理事長が、「木の性質」と題して木に関する長所・短所をはじめ木材の基礎的なことを原物見本を呈示しながら解かりやすく講演された。

第2部は、京都大学木材研究所則元助教授による、「生活と木材」と題して木材の吸放湿性と調湿特性を科学的に分析し、豊富な実験データをもとに実際面との影響等もふまえて講演された。1・2部とも内容が充実していたので、聴講者は興味深く聞き入り質疑もたくさん交わされ好評を得た講演会であった。

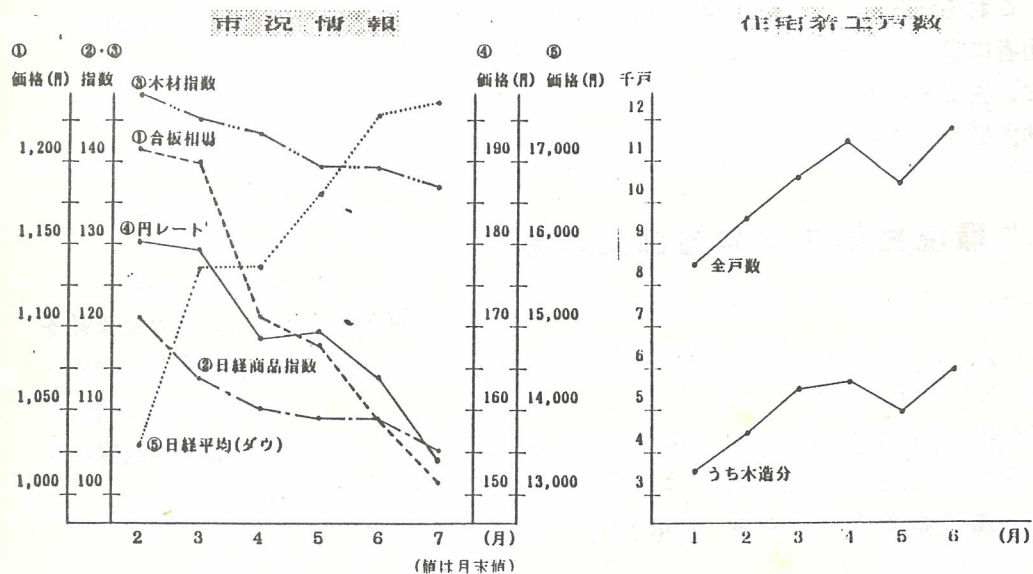
なお、次回は9月26日(金)午後1時30分より展示企業木材知識講習会と題して、(株)紅中・武田薬品工業(株)、永大産業(株)の3社による取り扱い商品等、木材に関する講習会が行われる予定。



### ★ 「てんびんの詩」映画会開催

去る6月のウッドリーム一周年記念行事で、非常に好評だった竹本幸之祐氏製作の教育ビデオ『てんびんの詩』の上映会が、去る7月30日午後7時30分より、ウッドリーム研修室で開催された。

この映画会は、特に地区住民の家族の方々を対象に企画されたが、商いの原点が問われる中で親と子供、あるいは家族の在り方を見つめなおすという点で、80名の視聴者から非常に有意義であったとの声が多く反響が大であった。



## “ 木栄会だより ”

### ★ 六甲山森林浴ツアーを実施

去る7月27日(日)、当会親睦委員会企画による六甲山森林浴ツアーが、会員とその家族ほか総勢53名により盛況裡に実施された。

世界各国の樹木が集められた森林植物園では、あらためて『木』の奥深さを痛感し、



昼食のジンギスカン料理・六甲山牧場では異国情緒を満喫した。

当日は天候にもめぐまれ、真夏の日を自然のクーラーの中、人間と動物と自然のふれあう六甲山で会員同志とその家族とが親睦を深めた一日であった。

### ★ 組合員工場の見学会を実施

第7回団地内組合員工場、相互見学会が会員21名の参加のもとに、去る7月23日に行なわれた。

この見学会は同会情報交流委員会の企画で、今回は大阪単板工業(株)、大平林業(株)、福井木材商店(株)、丸吉、マルコマ(株)並びにシバタ建設工業(株)の6事業所を約2時間半にわたって見学した。



各社の生産工程や製品内容等について専門的な質問、応答がとびかい、お互いに理解を深めることができ、文字通り情報交流の一助となった。

なお今回で団地内組合員工場、全社の見学を終了したが、趣向を変え、ひき続き工場見学を実施します。

## “ ちょっと一言 ”

東部木材株式会社

高島 正一



フィトン、チッドと呼ばれる物質を植物がだしていることを知った。フィトンとは『植物』、チッドとは『殺す』という意味、植物がカビやバクテリアを殺す能力のある物質を出しているらしい。

7月27日木栄会主催による六甲山『森林浴バスツアー』に会員家族と一緒に参加した。森の中へ入ると風のおいにも味があり、すがすがしさが感じられるこの森林浴の効用のほか、水資源の確保などいろいろな点で森林の大切さが認識されその保護が国有、民有を問わず活発になされているのが目につく。

私共このかた毎日原木を製材してきた。食するための事業とは云え将来植林還元することが使命であると今日考えている次第である。

昭和36年木材業界に入り、昭和43年東部木材(株)設立、別挽専門工場として約25年間原木と相対時してきたが、人さまざまそれぞれの性質、性格があるように丸太1本1本が皆違う。その時ありなだめ、すかし、あばたもえくぼにし第2の人生だと云って聞かせ世に送ってきたものである。50年生から200年生の息子たちが、あらゆる自然環境をのりこえて私達の目前にあらわれたその姿形は、一本一本が木の一生を表わして興味深い。

かつて南洋材は安く量産できるものとして合板に製材用にと、乱伐使用され植林技術の適応が満たないうちに資源の涸渇時期を迎えてしまった。我々製材業者としては、残り少ない資源を価値ある物として使用に供することが、事業の存続と資源の有効利用であろうかと思う。木材団地2年生労力、知恵を惜しまず汗して木と共に生きたい。

今後共、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願い致します。

## 【 団地内のうごき 】

### ◎ 地区盆踊り大会開催

去る8月23日(土)恒例の夏の風物詩盆踊り大会が、Aグラウンドにおいて開催された。暑い夏の夜のひとときを河内音頭の調べにのせて、踊りの輪と地区の和をぐんと広げ、楽しいひとときを過ごした。

### ◎ 美原町木材団地緑の少年団夏季林間学校開催

緑に親しみ、緑を育て、緑を大切にす美原町木材団地緑の少年団が、去る8月21日(木)高野山において林間学校を開いた。

当日は、高野営林署のご協力により学術参考保護林・伐採現地を見学、奥の院の杉並木散策と一日中緑に親しんだ。

学術参考保護林では自然に親しみ、昼食後の丸太切り作業では目の色を変えて、手に汗してのこぎりを引いていた。また伐採現地では、山林の伐採から集材されるまでの様子をじっくりと学んだ。

特に伐採現地では、平素見ることの出来ない光景が目前に広がり、子供たちは興味深く見入っていた。

この林間学校に参加した子供たちは、自然に親しみ緑の環境から得たものが大きかっただけに、十二分に満足していた。

## 【 事務局だより 】

### ★ パート職員の採用について

去る6月に設立した環境整備すぐやる課の専任職員として大平栄一(58才)職員が、またウッドリーム日曜・祝日の職員として松山三智子(21才)・望月美江(18才)・義川恵美子(39才)の各職員がパートとして7、8月より勤務しています。

### ★ 第2回ウッドフェアについて

昨年行われ好評を得たウッドフェアが、今年度は2日間にわたりビッグスケールで開催されます。具体的な内容等は追ってご案内致します。

・開催日時：昭和61年10月25日(土) 正午～午後5時

26日(日) 午前9時～午後5時

・開催場所：木材団地・事務所周辺

## 【 編集メモ 】

今月は郵便局が開局一周年を迎え感謝月間として謝恩サービスを実施しております。より一層のご利用をお待ちいたします。

組合役員からの“ちょっと一言”シリーズも今回で16回目となり、残り少なくなりました。新しい企画について皆さんからのご意見・ご要望等がありましたら当編集部までお寄せ下さい。  
(“あたらしき大地”編集部)

